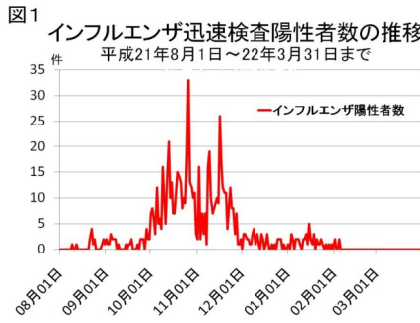


# Medical Technology News

## 臨床検査室新聞

### 猛威を振るった今シーズン インフルエンザ検査から見えたもの

昨年5月から日本で流行したインフルエンザですが、図1は当院におけるインフルエンザ迅速検査で陽性者数の推移を表し



たものです。

今シーズンは、8月に最初の陽性者がみられました。それ以降は10月からその数が増加し始め、1日で30名以上の陽性者を見ることがありました。この流行は12月まで続き、その後、陽性者は数名の小康状態となり、2月初旬以降は陽性者は見られず、流行は落ち着きました。

図2 今シーズンと昨シーズンとの比較

	今シーズン (2009-10)	昨シーズン (2008-09)
検査件数	2,057	1,076
陽性者数 (陽性率)	708 (34.4%)	279 (25.9%)
陽性者の 平均年齢	15.3歳	17.6歳

データ比較ですが、検査件数は、約2倍増加し、陽性者数も約5倍増加しました。陽性率も10%近く増え、今シーズンは、昨シーズンと

## LOOK

### 関節リウマチの検査

関節リウマチ(RA)とは:

関節滑膜の増殖により骨・軟骨を破壊する慢性多発性関節炎を特徴とする炎症性疾患であり、また全身性自己免疫疾患を代表する疾患でもあります。

### 抗CCP抗体検査

(抗シトルリン化ペプチド抗体)



抗CCP抗体はRA患者さんの関節滑膜に発現されているシトルリン化蛋白質に対する自己抗体です。この抗体検査は、RAに対し特異性が高く発症早期から陽性となるため、RAの早期診断、早期治療に有用な検査です。

### MMP-3検査

(マトリックスメタロプロテアーゼ-3)

MMP-3はRAで滑膜増殖に伴い産生され、その分解作用により関節(骨・軟骨)破壊をきたす酵素と考えられています。この検査は早期RAにおける滑膜増殖と関節破壊の予後予測の指標として有用です。

※検査要項一外注検査(ピンク色依頼伝票)  
検体一血清(生化学用採血管5ml)



## 平成21年度人間ドック 腹部超音波検査の所見

平成21年度の間ドック受診者は、435名(男性274名・女性161名)平均年齢47.3歳でした。このうち何らかの所見

がみられたのは261名(有所見率60%)おり、主な所見とその有所見率は、脂肪肝疑い147例(34%)、肝嚢胞47例(11%)、肝内高エコー腫瘍18例(4%)、胆嚢ポリープ様病変67例(15%)、胆石15例(3%)、腎嚢胞40例(9%)、腎

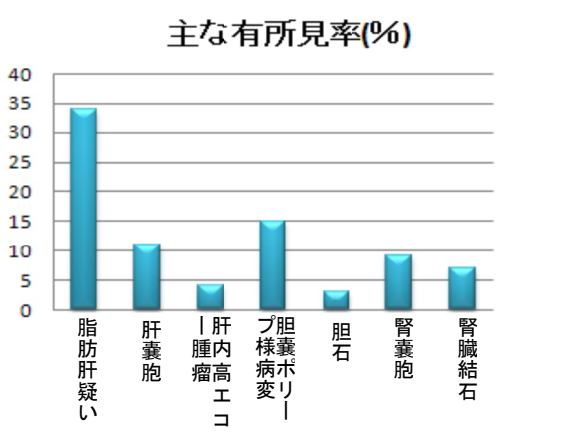
比べ、規模の大きな流行と思われました。また、陽性者の平均年齢を比べると、より若年化の傾向が明らかになりました。通常、冬季の12月から3月の間に流行するとされているインフルエンザですが、今シーズンは夏から秋にかけて流行しました。来たるべきシーズンの流行は、夏なのか、それとも冬なのか。今のところ全く予測がつかない状況です。

2010年5月 第11号  
発行元 八雲総合病院 臨床検査室



## ほと time

今はまってる SONG 聞いてみました!  
A君「パフューム全て!!」…Bさん「ラ・ジョーンズ」  
Cさん「MISIAのアルバム」…Dさん「車でEXILE聞いてます!!」…Eさん「鬼束ちひろの曲”声”」  
皆さんはどんな音楽が好きですか?  
素敵な音楽を聴きながらドライブも  
いいですね!



## 検査の基本

生理検査 三三知識

努力性肺活量 (Forced Vital Capacity)とは、最大吸気後、できるだけ速やかに最大の努力で、最大呼気位まで呼出させたときの呼出量をいいます。健康人では肺活量とほぼ変わりませんが、閉塞性換気障害があると、低値を示すことがあります。

主な疾患に気管支ぜんそく、慢性気管支炎、びまん性汎細気管支炎、気管支拡張症、肺気腫、肺のう胞症などがあげられます。

## 編集後記



原稿執筆時は4月ですが、春の兆しすら見えないくらい肌寒い日が続いています。春は来るのでしょうか▼先日髪を切りに床屋へ行つたときのこと。この冬はシバれたから夏は暑くなりそうだ。と農家のお客さんが言っていたそう▼冬寒いのは嫌ですが、夏の暑いのも嫌いです。ちょうどいい気温になってほしいですが、そういう私はジューシーウー...